

企業と地方公共団体との地域別マッチング会
～プレゼン・個別面談・名刺交換会～ in 神奈川

相模原市立博物館宇宙教育推進 プロジェクトについて



相模原市マスコットキャラクター

さがみん

令和6年2月21日
相模原市立博物館
主任 田子 智大



相模原市の基本情報

○人口724,987人(令和5年12月1日時点)

○JAXA宇宙科学研究所(JAXA相模原キャンパス)所在地

○「宇宙を身近に感じられるまち さがみはら」としてシティプロモーションを実施

★宇宙に関連する様々なイベントの実施などを通して地域の賑わいを創出

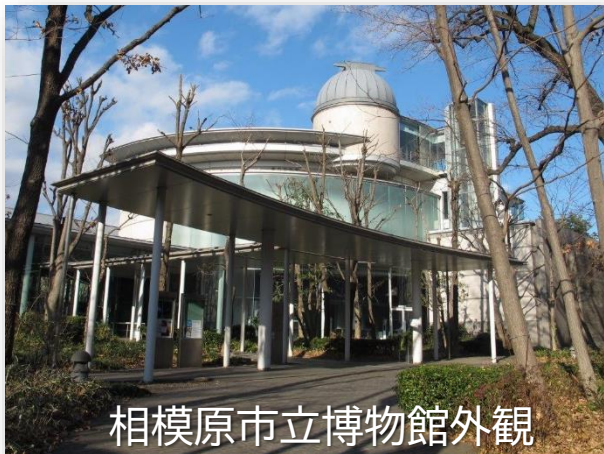
★市総合計画に宇宙関連事業の推進を位置づけ、JAXA協力のもと講座や各種イベント等を開催し、学習機会の提供や市の魅力を発信

★すべての未就学児と市内在住又は在学の子ども(中学生以下)の施設利用料無償化の対象に、プラネタリウムを含めることで教育環境の充実や居場所を提供



相模原市立博物館について

- 相模原市の自然や歴史、そして天文について学べる総合博物館
- JAXA相模原キャンパスの向かいに所在
- 小惑星探査機「はやぶさ」及び「はやぶさ2」の地球帰還カプセル世界初公開、JAXA相模原キャンパス特別公開をはじめ、様々な連携事業を実施



相模原市立博物館について

○展示室や講演スペースのほかにプラネタリウムや天体観測室といった、宇宙を学べる設備が充実



その立地と設備、充実した事業内容により、
本市の宇宙関連事業の中核的な施設となっている。

実績と課題

相模原市立博物館プラネタリウムについて

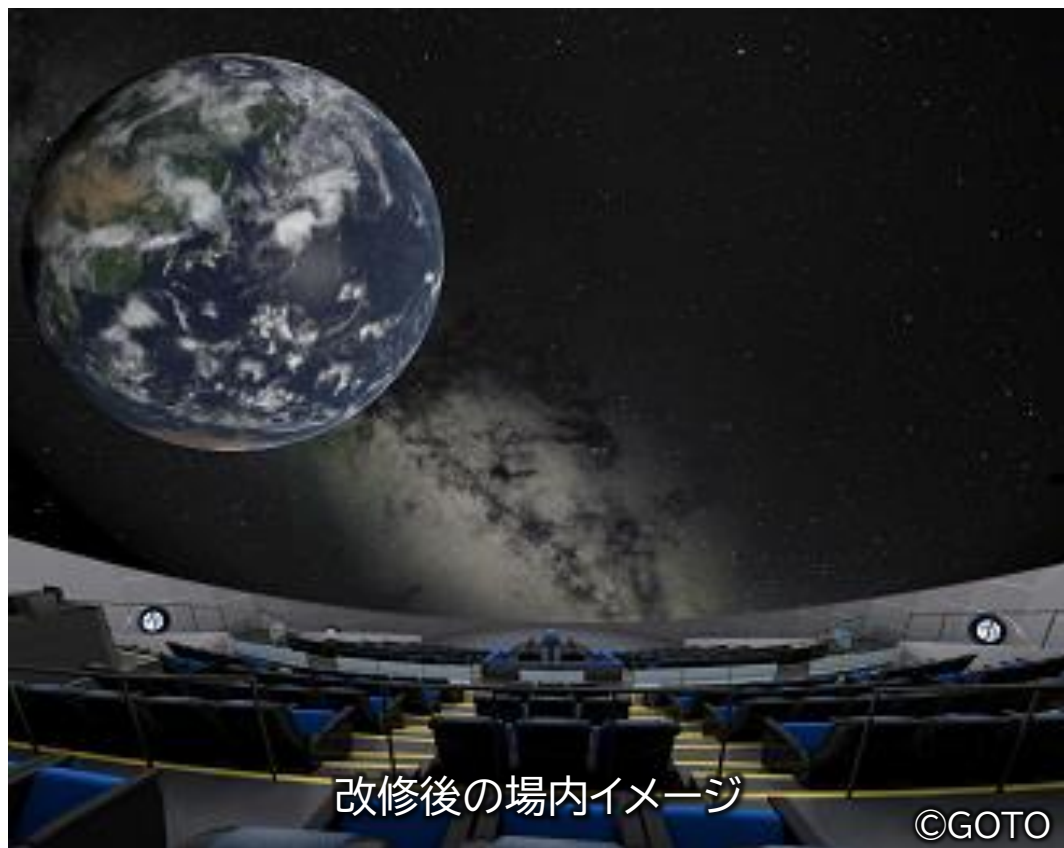
- 開館(平成7年11月)と同時に設置
- 市内小学4年生全員が学習投影のため来館
- 年間利用者数48,147人(令和4年度実績)



宇宙教育の要として、これまで数々のイベント、学習機会の提供を行ってきたが、設置から28年以上が経過し、これからの宇宙産業の担い手を育成するためには、時代に合った施設の魅力向上が必要

寄附対象事業について

令和7年1月～7月にかけてリニューアルを実施し、世界初となる10億個の星と8K映像を同時に映し出すことのできるハイブリッド式プラネタリウムを導入



主な改修内容

- ・10億個の星を映し出す光学式投影機
- ・8K映像を映し出す全天周デジタル投影機器
- ・投影機からの映像を映し出すドームスクリーン
- ・座席や床面カーペット等内装の改修
- ・多目的ルームの設置
- ・イベント利用を想定した、投影システムの内蔵、高感度カメラや照明設備、音響設備の設置

受託事業者

株式会社五藤光学研究所
(契約予定金額:499,999,500円)



目指す姿

相模原市立博物館

- 世界最先端の研究施設であるJAXA宇宙科学研究所との連携
- 展示室や講演会場、天体観測室といった宇宙関連施設
- 小学4年生の来館学習をはじめとする、これまで培ってきた宇宙教育の基盤

世界最高峰の最新型プラネタリウムの導入

宇宙科学・宇宙産業の発展が期待される中で…

時代に対応した人材の育成

宇宙に対する興味関心、
憧れを抱くきっかけや
質の高い学習機会の提供

少子化社会の中で…

他施策との連携等による
教育・子育て環境の充実

プラネタリウムを生涯学習・観光・地域交流の拠点とし、
JAXA宇宙科学研究所と一体になり地域全体の魅力を向上!

ご静聴ありがとうございました。



相模原市マスコットキャラクター

さがみん

相模原市

市長公室 政策課(企業版ふるさと納税担当)

TEL:042-769-8203

Mail:seisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

教育局 生涯学習部 博物館(担当:田子、笠原)

TEL:042-750-8030

Mail:hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp

